

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2970800344
法人名	社会福祉法人 三寿福祉会
事業所名	グループホーム友楽苑
所在地	奈良県御所市重阪771-3 (電話) 0747-26-1616
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 20年 10月 17日

【情報提供票より】(20年9月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 15日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	15 人
常勤	9人
非常勤	6人
常勤換算	14.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造
	2階建て、1階～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	32,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	300,000円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月25日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	1名	要介護2	8名		
要介護3	8名	要介護4	1名		
要介護5	名				
要支援2	名				
年齢	平均 85.5歳	最低	73歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	吉川診療所
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、金剛山の麓の広大な敷地に社会福祉法人三寿会が設置・運営する各種在宅福祉事業と共に開設されています。事業所内は木材をふんだんに使い温もりが感じられ、また、明るく広い生活空間等は清潔感が溢れています。入居者は、個性が尊重され一人ひとりのペースで、特技や趣味を生かしながら穏やかに生活されています。職員も「家庭的・個々のリズムの尊重・ゆったりした時間」等の運営理念の下に優しく誠実な支援に努められています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	介護計画は、「その人らしい暮らしを支援する」との視点を大切にされ、従前にも増して目標や課題の把握・解決への取り組みの充実が図られています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、すべての職員の参画の下で実施され、問題点や課題の把握と質の向上に活かされていますが、なお解決すべき課題が残されていますので、一層の取り組みを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の設置目的等を認識され、構成メンバーの選考過程にあります。基準省令の規定に基づき早急に設置される事が望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時に要望や不安を感じられている問題等を職員から積極的に聞き出す取り組みや投書箱の設置がなされ、寄せられた意見等は検証し運営に活かす事とされています。ただ、苦情・相談窓口が系列の在宅介護支援センターとされていますが、事業所内での苦情・相談体制の整備を期待します。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所も地域社会の一員と認識されていますが、立地環境から日常的に地域との関りは希薄なものになっています。今後の展望として、自治会への加入や地域行事への参加等の検討が進められていますので、実現を期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「個性の尊重を基本に、一人ひとりの生活リズムを大切」とする理念のが作られています。		地域密着型サービスに制度改正された事により、地域社会との関りをより重視されましたので、この視点を取り入れた運営理念の改正が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例の職員会議や日々の業務中で、理念の実践への反映を話し合い取り組みがなされています。なお、運営理念が目につく場所に掲出されています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所も地域社会の一員と認識されていますが、立地環境から日常的な地域との関りが希薄と感じられます。		事業所も地域との関りの必要性を実感され、地域の各種行事への参加等も検討されていますので、自治会への加入等を含め、実現を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、自己評価に際しては、職員の意見を聞き出し結果を導き出す取り組みがなされています。また、外部評価の内容も定例会議等で報告・周知されています。		自己評価での課題・問題点の把握と確認された点や外部評価での課題事項の改善への一層の取り組みを期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の設置の意義・目的は認識されており、構成メンバーの選考過程にあります。		地域密着型サービス事業の基準省令の規定(第108条)に基づき、早急に設置される事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当窓口と相談・連絡等の体制について話し合いられていますが、十分機能していない状況にあります。		事業運営上の諸課題の解決には、行政の理解・協力が不可欠とされますので、積極的な連携に努められる事を期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、担当職員の手書きによる個々の暮らしの様子等を報告されています。また、家族の訪問時にもその様子を報告されています。なお、体調等に変化が見られる時は、家族に連絡され、適切に対処されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に要望や不安を感じられている問題等について、職員から積極的に聞き出す取り組みや投書箱の設置がなされ、寄せられた意見等は検証し運営に反映する事とされています。		相談・苦情窓口が、系列の在宅介護支援センターとされていますが、事業所内での相談等の体制整備を期待します。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎に職員の固定化を基本とされており、馴染みにより信頼関係の維持・構築に努め、入居者の心理面への配慮がなされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	サービスの質の向上には、職員の資質の向上と不可分の関係にあると考え、定期的な研修会が開催されています。		外部研修の積極的な受講や内部研修会の内容の充実を検討されていますので、実現を期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等で知り合った人と個人的な情報交換程度に留まっており、同業者との交流まで至っていません。		同業者との交流は、職員の資質とサービスの質の向上を図る上で大きな効果が期待出来ますので検討が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所の見学時に、職員や入居者と穏やかな雰囲気の中で話し合う機会を作り、不安なく入居に繋げる工夫がなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の特技や趣味を通じて、得意分野で力を発揮してもらい、お互い様と言う気持ちや感謝するという関係を築く努力をされています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活歴や趣味・思考の把握と入居生活での行動を観察・記録されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	取得した情報や蓄積した情報を基に、本人がより良く暮らすための計画を担当者が中心に会議を開催し、作成する事とされています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の重要性を認識されて、3ヶ月毎の見直しはもとより、入居者の状態の変化に応じて、家族と相談され適宜見直しがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案され、買い物や通院等外出支援を柔軟になされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の協力を得ながら、かかりつけ医受診に柔軟な対応がなされています。なお、定期的な往診があり適切な医療への配慮がなされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期への対応は極めて重要な問題と認識されており、今後の課題として取り組む姿勢が伺えます。		終末期への対応は、入居者や家族にとって大きな関心事でありますので、最終的な判断は家族等がされますが、事業所としての方向を関係者が相談され、明確にされる事を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個性の尊重を基本に、言葉の内容や語調に意を用い支援されています。なお、個人情報に係る記録類等は決められた場所で保管・管理されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れが設定されていますが、一人ひとりのペース・リズムを優先した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に応じて、食卓の準備や後片付けに協働され、職員も同じテーブルと一緒に食事する等楽しい雰囲気作りに配慮されています。		明るく広いダイニングに調理設備がなされていますが、現在は調理がなされていません。食事は栄養を満たすだけに留まらず、食への意欲や楽しみ・喜びを与える事に繋がりますので、この場所の活用が望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定はなされていますが、本人の希望に沿って柔軟に対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生きがいや張り合いを暮らしの中に持つ事の重要性を認識され、生活面で能力が発揮できる場面(食事準備・後片付け・野菜の水やり等)作りや趣味(塗り絵・ちぎりえ)を活かせる取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける効果を認識され、敷地内やその周辺の散歩を日常的に取り入れると共に、買い物等外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による入居者の心理的圧迫を認識され、玄関はいつも開錠されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元消防署の指導の下に、昼間・夜間の火災時の避難訓練の実施が計画的におこなわれています。また、被災時に備えて同じ敷地内の他の事業所からの応援体制も確立されています。なお、震災に備え飲料水等の備蓄もなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量は把握・記録すると共に、栄養バランスについても関係事業所の栄養士の下で管理されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>木材をふんだんに使用した温もりが感じられる広くて明るい共用生活空間は、清掃が行き届き清潔感があります。また、自然光を取り入れるためにカーテン等を上手に活用されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具・調度品や好みの品物が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっています。</p>		